

市長の海外出張について (現地からの報告)

8月6日付報道発表のとおり、浜松市長が8月9日（土）～14日（木）の6日間の行程でインドネシア共和国及びマレーシアへ出張しています。

市長は、8月10日（日）にインドネシア共和国バンドン市において開催されたバンドン浜松文化祭に参加し、高校生を対象に講演を行いました。また、翌日11日（月）の午前には、インドネシア教育大学において大学生を対象に講演を行うとともに、午後には、バンドン市との新たな覚書締結式に出席しました。

現地からの報告が届きましたのでお知らせします。

記

【インドネシア共和国バンドン市との覚書の締結について】

1 締結式概要

日時 8月11日（月）13:00～14:00 ※現地時間

場所 インドネシア共和国バンドン市内バンドン市役所

出席者 浜松市 中野祐介市長、工藤文武企画調整部長 他

バンドン市 ムハマド・ファルハン市長、バンドン市議会議員 他

2 覚書

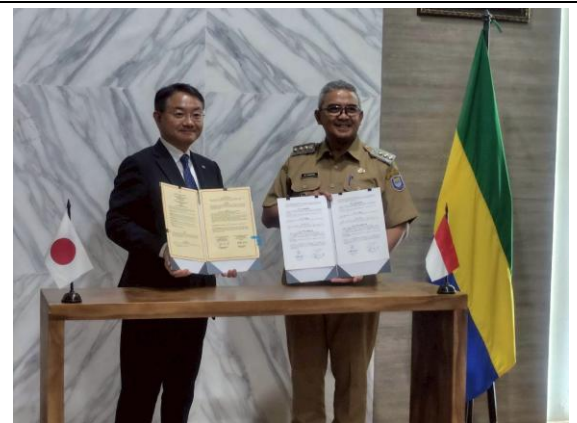
別紙のとおり

3 内容

<コメント>

浜松市長「今回の締結を新たな節目として、互恵的協力関係を築き、両都市のさらなる発展を目指したい。」

バンドン市長「今回の締結を踏まえ、人と人とのつながり、交流を大切にしていきたい、新たな連携を築いていきたい。」





【バンドン浜松文化祭及びインドネシア教育大学での講演について】

市長は、浜松市とバンドン市とのこれまでの交流連携状況をはじめ、温暖な気候や食材の豊富さ、自動車やオートバイ、楽器など日本有数のものづくりのまち等、本市の魅力や特長を学生に直接PRしました。

また、本市の多文化共生の取組や在住インドネシア人との相互交流イベントなどを紹介し、将来の選択肢の一つとして、浜松での就労を期待したい旨を話しました。

＜バンドン浜松文化祭＞

浜松市で活動する浜松インドネシア友好協会とバンドン市で活動するプルサダグループ（日本への留学経験者の会）が主催。今回は、国立バンドン第2高等専門学校を会場に開催された。今回の参加者約120人。

＜インドネシア教育大学＞

インドネシア唯一の国立教育大学。日本語教育専攻修士課程は2001年に開設され、インドネシアの大学院の中で唯一、日本語教育で修士号を取得可能な機関。今回の参加者約80人。



バンドン浜松文化祭の様子



インドネシア教育大学の様子